



# 波折の伝説：ひまわり組



各場面で劇の流れをつくる大事なナレーター

## 波折の伝説（波折神社）

波折神社は津屋崎の氏神様で、その名前をには由来があります。昔、3人の漁師が沖合で釣りをしていると急に海が荒れました。神様に祈ると三神が現れ、その助けによって、荒波を折ってつづみ島に漂着、波風が収まるのを待ちました。波風がやみ、神様が去った後、船には三つの石があり、漁師たちはそれをご神体として社をたてておまつりをしました。それで波折神社というようになりました。



第7場面：「きせきだー！」  
「波折の伝説」完結！



第1場面目標：話す相手を見てセリフを言うこと

第6場面：またまた、神様が助けてくれます。

第8場面：「波折の伝説」の津屋崎を紹介します。



第2場面目標：セリフを忘れないようにがんばる！



第4場面：「友達」「心配」→「気をつけて！」



大団円！  
「おいさ！おいさ！おいさ！」



第3場面目標：  
笑わないで、ふざけないで！がんばる！



第5場面：神様と嵐の対決です！「しずまれ！」「そうは、させないぜー」  
「はまたろう・かんた・へいすけ」船の中で無事を願っています！

